

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 29 年 6 月発行 88-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

生涯学習で「お手玉遊び」を

「きのくに県民カレッジ」で採用



このほど、和歌山県の「きのくに県民カレッジ」2017年春号が発行され、県立図書館の文化センターでの「きのくにふれあい学習研究」が紹介されています。ボランティア団体やNPOが体験教室を行うものです。

その中に、和歌山のお手玉の会(森勝代会長)が担当する『お手玉教室』が含まれています。この教室について、森会長は、次のように参加を呼び掛けています。「日

本の伝統文化のお手玉遊びの伝承と、新しく創造した遊びの紹介、簡単な技術の練習や、お手玉を使ったゲームもあります。赤ちゃんから高齢者まで幅広く楽しめ、世代間交流ができ、笑顔になり、脳の活性化、健康増進につながります。」(左の写真は「きのくにに学習メニューブック」に紹介されたお手玉教室)



小学生2人が初段に合格

5月6日(土)、今年度2回目の教室を開き、支部の会員や子どもたち約20人が参加し、お手玉の技を磨き、交流を深めました。最初に、お手玉の段位認定審査に合格した中尾結菜さん(小4)と、小室結菜さん(小3)に、それぞれ初段の認定証が贈られました。(写真上は「わかやま新報」で紹介された中尾さん(左)と小室さん)



そのあと、参加した全員が、頭に1個お手玉を乗せてあいさつをしてから、練習を始めました。

それぞれのレベルにあわせて、両手2個ゆり、片手2個ゆり、両手3個ゆりの段位獲得を目指して挑戦しました。

後半は、「あんたがたどこさ」を歌いながらお手玉を回す、コミュニケーションゲームを全員で楽しみました。参加した人たちは、「とても楽しかったです。次回も参加して、お手玉の技が上手にできるように練習をしたい」と、話していました。

江澤迪さん(小4)は3段を取得

和歌山のお手玉の会に所属する和歌山市立高松小学校4年生の江澤迪(-いたる)さんは、日本のお手玉の会の段位認定審査で3段に合格し、このほど段位認定証が贈られました。迪さんは、幼稚園の時にお手玉を始め、小学1年生で初段を、さらにつづいて2段を取得しました。その後も、毎月開かれるお手玉教室で練習を積んで技術を磨きました。「次は、4段と寄せ玉を目指したい」と意欲を燃やしています。(写真は：「わかやま新報」に掲載された迪さん)